

射水市教育委員会 6 月定例会会議録

開会日時 令和 6 年 6 月 2 1 日（金） 開会 午後 3 時 0 0 分
閉会 午後 5 時 1 5 分

会議場所 市役所 4 階 会議室 4 0 1

出席委員

金谷教育長、眞岸委員、宮原委員、野上委員、村上委員

会議事件説明員

久々江事務局長、星野事務局次長（兼生涯学習・スポーツ課長）、六渡事務局次長、
佐藤学校教育課長、廉教育センター所長、酒井学校教育課副主幹、高井学校教育課長
補佐、鳥本生涯学習・スポーツ課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午後 3 時 0 0 分、教育長が開会を宣した。

1 会議録の承認

承認された。

2 事務局報告

（ 1 ）令和 6 年 6 月市議会定例会開催状況について

事務局長が、資料 1 に基づき説明した。

3 協議事項

（ 1 ）教育に関する事務の点検・評価報告書（案）について（令和 5 年度分）

事務局次長（兼生涯学習・スポーツ課長）及び学校教育課長が、資料 2 に基づき
説明し、一部修正の上、意見聴取会に提出することが了承された。

4 各課等の連絡事項および報告事項

（ 1 ）令和 7 年射水市重点事業について

事務局次長（兼生涯学習・スポーツ課長）及び学校教育課長が、資料 3 に基づき
説明した。

（ 2 ）第 7 回学校部活動在り方検討会 会議概要

学校教育課長が、資料 4 に基づき説明した。

（ 3 ）令和 6 年度射水市教育行政要覧

学校教育課長が、資料 5 に基づき説明した。

（ 4 ）射水市スポーツ推進審議会委員の任命について

事務局次長（兼生涯学習・スポーツ課長）が、資料 6 に基づき説明した。

（ 5 ）「川越ゆりえ展 -心の虫たち- 」を開催します！

事務局次長（兼生涯学習・スポーツ課長）が、資料 7 に基づき説明した。

(6) 令和 6 年度教育研修会 (オンライン研修) 実施要項 (案)

教育センター所長が、資料 8 に基づき説明した。

(7) 令和 6 年度射水市マイスター教員事業について

教育センター所長が、資料 9 に基づき説明した。

(8) 令和 6 年度「学び高め合う集団づくり支援事業」について

教育センター所長が、資料 10 に基づき説明した。

(9) 小学校におけるプログラミング教育推進事業について

教育センター所長が、資料 11 に基づき説明した。

(10) 教育委員会行事予定

学校教育課長補佐が、資料 12 に基づき説明した。

5 その他

(1) 次回教育委員会の開催日時について

7 月 31 日 (水) 午後 3 時 00 分から 市庁舎 401 会議室

(2) 総合教育会議について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 4 第 4 項の規定に基づき、放生津小学校・新湊小学校の新設統合について、総合教育会議の開催を求めることとした。

6 議 事

(1) 資料 2 : 教育に関する事務の点検・評価報告書 (案) について (令和 5 年度分)

〔 委 員 〕 P5 (1) 確かな学力の定着

学校訪問の際に授業の様子を確認させていただいた。数年前と比べ、学習専用端末等の ICT 活用により、効果的な授業が行われているように感じた。また、先生方も ICT の利活用に慣れてきているとの実感である。

しかし、報告書に記載されているとおり、先生によっては、ICT 活用指導力や活用頻度に差があることが課題である。

〔 委 員 〕 P10 (2) 心身ともに健やかな子どもの育成

「学び高め合う集団づくり支援事業」において、お笑いコンビ雷鳥による「教師のコミュニケーションスキルアップ研修」を実施されていた。大変良い取組であり、報告書に記載してはどうか。

〔 事務局 〕 報告書に記載したい。なお、記載箇所は検討したい。

〔 委 員 〕 WEBQ 調査については、調査結果の見方だけでなく、児童生徒の状態や学級集団の特性等について、なぜそうなのか原因の予想を立てて、支援につなげることができるようになることが大切である。

〔 委 員 〕 P22 (3) 特別支援教育の充実

特別支援教育コーディネーターは、医療機関や関係機関との連携調整という役割を担う方であり、教諭や養護教諭が兼ねているとあるが、連携の内容を教えてほしい。

〔委員〕 特別支援教育コーディネーターは、多くの学校で複数人で分担し、個々の児童生徒について、医療機関との受診希望の調整等について連携をしている。コーディネーターが一人で抱えることなく、校内の各支援員にも相談し、協力しながら対応している。

〔委員〕 特別支援教育コーディネーターは、若返っている傾向にある。様々な関係機関との連携がどこまで行き届いているのか心配である。

〔事務局〕 経験年数10年以下の教員が約半数を占めていること、また、特別支援の対象児童生徒が増えている状況である。特別支援教育コーディネーターは、学校規模にもよるが複数人で対応しており、経験年数を有している教員が1人は入っている。また、市教委の特別支援教育担当の指導主事が、学校と連携しながら支援にあたっている。

〔委員〕 特別支援学級の児童生徒は多くなっており、先生方は日々悩みながら教育活動を行っている。担任と校内の先生方との連携体制をしっかりと整えていただきたい。

〔委員〕 P24（4）郷土愛を育む教育の推進

いみず鳳雛きらめき塾は、本市の特色ある良い事業である。取組状況、成果の部分をしっかりと記載してほしい。

〔事務局〕 修正したい。

〔委員〕 P46（12）生涯学習推進体制の充実

基本的施策の評価が「概ね順調に進んでいる」とされているが、「順調に進んでいる」としてもよいのではないか。指標も上向いており、しっかりと生涯学習活動を実施されている。

〔事務局〕 修正したい。

（2）資料4：第7回学校部活動在り方検討会 会議概要

〔委員〕 学校部活動の地域移行は、教員の働き方改革の観点から始まっている。地域指導者がいない競技では、部活動を担当している教員に指導者をお願いしているとの話も聞いている。

〔事務局〕 教員に地域指導者をお願いする場合は、希望を伺っているが、無理にお願いすることなく、しっかりと意思を尊重してまいりたい。

（3）資料7：「川越ゆりえ展 -心の虫たち-」を開催します！

〔委員〕 博物館の企画展のチラシを、老人クラブ等の各種団体長にも配付してはどうかと思う。様々な世代へのPRをお願いしたい。

午後5時15分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。